

とっとり県商會



とっとり経営会議

生き残る企業になるために

物価高騰や賃金上昇、後継者不足、さらには石油製品の供給不安定化……。先の見通せない事業環境のなかで、経営者に「正解」や万能の解決策は存在しません。しかし、将来を見通す力となる経営学の知識を身につけることで、失敗のリスクを抑え、成功の確率を高めることは可能です。

この会議では、実際に事業を担う経営者の皆さまの経験や事例をもとに、経営改善や事業の成長・継続にどのように知識を活かしているのかをご紹介します。

そのうえで、目の前のへ賃上げ×価格転嫁×人材不足

といった課題にどのように向き合い、どのように解決して

いくのか——皆さまとともに考えていきます。

TOTTORI BUSINESS FORUM

令和8年

11/4 水 13:00～16:30

米子コンベンションセンター 国際会議室
鳥取県米子市末広町294番地

参加費 無料 定員 50名

お申し込みはこちら

申込締切 令和8年 11月3日(火)

<https://tottori-business-forum2026-west.peatix.com>

右記QRコードからのお申し込みが難しい場合、
本イベントをご案内いたしました金融機関、
または下記お問い合わせ先へお申し込みください。



主催：鳥取県 共催：株式会社山陰合同銀行、株式会社鳥取銀行、株式会社日本政策金融公庫、国立大学法人鳥取大学
後援：鳥取信用金庫、倉吉信用金庫、米子信用金庫、鳥取県信用保証協会 企画・運営：BSS山陰放送、株式会社角屋食品 教育事業部(KAX)
お問合せ：株式会社角屋食品 教育事業部(KAX) (Mail) kax@kadoya-tottori.jp



会社と船

会社経営は、船の航海にたとえられます。順風満帆のときもあれば、荒波に揉まれることもあります。いま企業は、賃上げ圧力と価格転嫁の難しさに挟まれ、さらに後継者不在という課題にも直面しています。こうした時代に必要なのは、羅針盤となるビジョン、燃料となる経営資源、そして舵を取る経営者の意思決定力ではないでしょうか。進むべき方向を見失わないために、経営学の学びがその判断を支える手がかりとなるかもしれません。

経営と航海

良い航海には、潮の流れを読む知識や、船の構造を理解する力が欠かせません。経営の実践でもまた、理論や見識が意思決定の拠り所となる場面が多くあります。価格転嫁が難しい業界では、利益構造や価値の伝え方を見直す必要があるかもしれません。事業承継に悩む企業では、“正解のない問い”が浮かび上がってくることもあります。そうした課題に向き合うとき、判断を支える根拠のひとつが、日々積み重ねてきた学びではないでしょうか。

学びの場

とっとり経営会議は、県内外の企業経営者・実務家・支援者が集い、航海の知を共有する“港”のような場です。今年のテーマは「賃上げ」「価格転嫁」「人材採用」。いずれも待ったなしの経営課題ですが、解決策は企業ごとに異なります。本会議では、理論と実践を往復しながら、自社が進むべき方向性を見定めるための対話と学びの機会を提供します。荒波の中、経営を舵取りするための、『気づき』と『新たな問い』が生まれることを願っています。

PROGRAM

※プログラムは一部変更の可能性あります。

1	【第1部】講演 「価格転嫁できる会社は、何を学んでいるのか -最低賃金1,500円時代に求められる管理会計と競争戦略-」 株式会社角屋食品 代表取締役 角谷 直樹 氏（名古屋商科大学ビジネススクール客員講師）
2	【第2部】トークセッション 「価格転嫁と人材採用の理想と現実」 ○モデレーター 株式会社ユーザベース NewsPicks Brand Design シニアエディター / Launch Pitch 編集統括 竹本 拓也 氏 ○ゲスト 株式会社ウミライ 代表取締役社長 堀田 収 氏 サンクリーン株式会社 代表取締役社長 竹ノ内 賢一郎 氏 株式会社丸合 代表取締役社長 梅林 裕暁 氏
3	クローージング 株式会社山陰合同銀行 常務執行役員 高橋 一成 氏

終了後、ゲストを含めての30分程度の名刺交換会 / 交流会を予定しております。お時間がある方はぜひご参加ください。